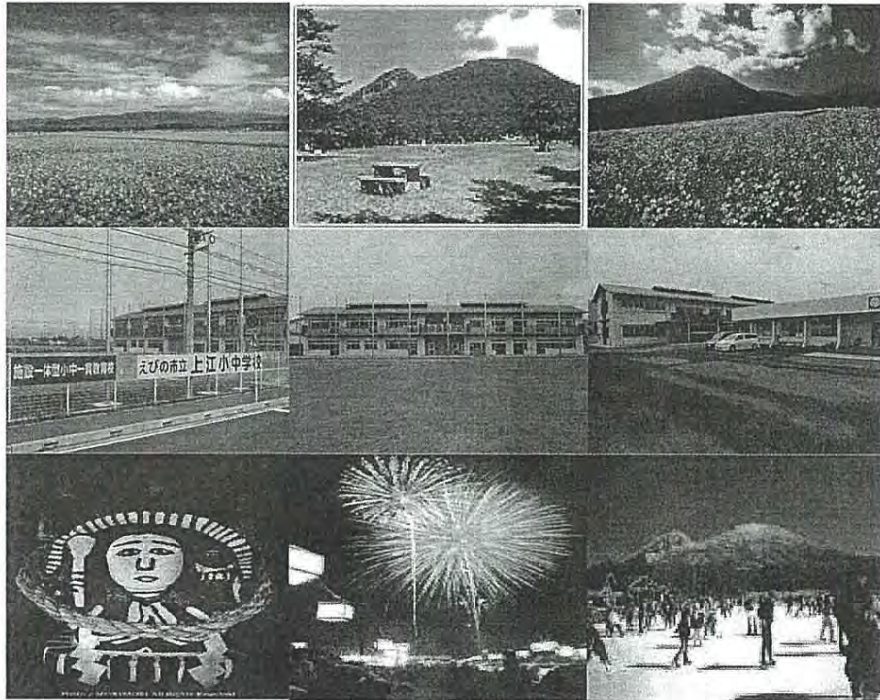


平成29年度

租税教育委嘱校発表会資料



平成29年5月19日(金)

えびの市立上江中学校

租税教育委嘱校発表会資料

委嘱校名	えびの市立 上江中学校
所在地	〒889-4304 電話番号(0984)33-0315 宮崎県えびの市大字上江1580番地
校長名	古川 康二
担当教諭	海野 敏樹
<p>1 租税教育の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「税についての作文」等の募集については、1・2年生は標語を、3年生は作文を応募することができた。事前指導として、夏休み前に全校生徒を対象に社会科担当教諭の行う租税教室を実施することができた。そのことにより、生徒たちも個人や家族で租税について調べ、考えることができた。生徒たちの作品の中に今まで多かった消費税以外の税のことについて言及したり、租税を多角的に考察する生徒も見られるようになった。</li> <li>○ 3年生の書いた「税についての作文」を校内放送で発表させることができた。作文を書いた本人に事前に読みの練習をしてもらい、放送室で発表させた。教室で聞いている生徒も租税についての知識や考える視点を知ることができた。</li> <li>○ 税務署の方を講師として招聘し、教職員を対象とした租税教室を開催することができた。身近な租税について説明していただき、参加者からも大変分かりやすかったとの感想があった。また、参加者からの質問にも応じていただき、日頃の租税についての疑問が解消された参加者もいた。</li> <li>○ 税務署の方を講師として招聘し、3年生を対象に租税教室を実施することができた。実物教材やDVD、「わたしたちの生活と税」などを活用した大変分かりやすい授業であった。生徒たちは、1億円の重さを実感できたり、もしも税がなかったら大変な世の中になることや税の種類について知ることができたという感想を多く書いていた。是非とも次年度もこの租税教室を実施して欲しいという要望もあった。</li> <li>○ 1・2年生は歴史的分野の学習において、税の歴史について学習することができた。また、3年生は公民的分野の「私たちの生活と財政」の学習において、租税の種類や課税方法、公平性の問題、財政の役割と課題等について学習することができた。</li> </ul>	



## 2 租税教育についての反省

- 教職員を対象とした租税教育を実施することができたが、各教科等で連携して取り組むことができなかった。そのため、校内での租税作品の展示もできなかった。
- 租税について生徒に考えさせることはできたが、家族で調べたり考えたりすることがあまりできなかった。

## 3 租税教育についての今後の課題

- 社会科を中心に国語科や美術科とも連携を図りながら租税の知識を広げるとともに、標語や短歌、ポスター等で生徒の表現力の向上に努めていきたい。
- 夏休み前の租税教室や12月の税務署の方の租税教室など、1年間の租税教育の計画の見通しが立てられたので、今後より充実したものにするために取り組んでいきたい。

### 租税教育事業実績

実施月	事 項	内 容
4月中旬	年間指導計画の作成	・ 年間指導計画の作成と提出
5月下旬	校長・担当教諭会	・ 校長担当教諭会に出会
7月上旬	国語・社会・美術・家庭科担当者での打ち合わせ	・ 各教科で租税教育に関連する学習内容や取組の確認
7月中旬	租税作品募集	・ 「税についての作文」等募集と指導
8月上旬	教職員租税教室	・ 教職員を対象とした租税教室
8月下旬	租税作品審査及び指導	・ 租税作文校内審査及び推敲指導
9月上旬	租税作品提出	・ 生徒作品の提出
12月上旬	租税作品の表彰	・ 租税作品の受賞者の集会での表彰
12月中旬	租税教室の実施	・ 3年生対象の租税教室実施

1月中旬	税に関する作文の紹介	・ 校内放送で税に関する作文を紹介する。
2月中旬	今年度の反省及び来年度の計画	・ 1年間の取組の反省と来年度の計画の作成
3月上旬	実績報告書の作成	・ 実績報告書の作成と提出

◇ 平成28年度 租税教育の実際

1 「税についての作文」等募集の指導について

(1) 校内放送による作品紹介と募集の放送原稿（一部）

上江中学校は平成28年度と29年度の2年間、租税教育推進校に指定されました。この2年間で、租税についての知識をしっかりと身に付けていきたいと思えます。そこで今日は、平成27年度に入賞した租税作文を紹介します。（作文を読む）

皆さんも時間の余裕のある夏休みに税について調べてみて、作文を書いてみてはいかがでしょうか。税についての作品募集についての説明は、租税教室で行われます。

(2) 社会科担当教諭による租税教室

夏休みを前に全校生徒を対象に租税教室を実施した。夏休みには租税に関する作文や標語・短歌を募集することになっているため、租税に関する基礎知識と夏休みに取り組む租税に関する課題の確認を行った。まず、租税に関する基礎知識については、租税の種類と公園や消防署、警察署など租税によってつくられたものを確認した。また、えびの市の財政に触れ、歳出の具体例を示した。生徒たちは資料をもとに問題の答えを探するなど積極的に取り組んでいた。1・2年生には標語と短歌を、3年生には標語・短歌の他に税に関する作文に挑戦してもらうことにした。



租税教室のようす



身近な租税の資料



(3) 生徒作文、標語・短歌

① 生徒作文（3年男子）

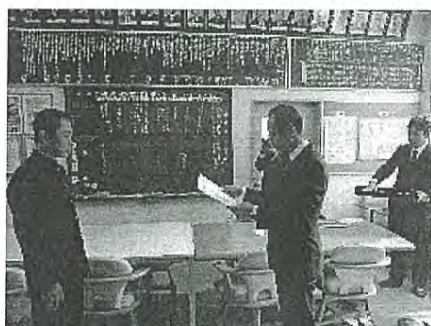
夏休みに入る少し前に、租税について全校生徒で勉強しました。所得税や消費税、酒税など、税金にはいろいろな種類があります。ではなぜ、こんなに沢山のお金を納めなければならないのでしょうか。それは、日本が借金を抱えているからです。その借金は想像がつかないほど莫大な金額で、産まれたばかりの赤ちゃんから、お年寄りまで国民一人一人に、平均して数百万円の借金があるのです。また、道路の整備やゴミの処理など地域の環境を良くするためにもお金が必要です。ですから、国民から税金として集めているのです。また、一口に税金といってもその種類は直接税と間接税、納める場所で国税と地方税に分かれます。直接税の代表的なものは所得税や法人税です。間接税の代表的なものは何といっても消費税です。また、国税とは国に納める税金です。地方税は県税と市町村税に分かれています。ですから、間接税の消費税を納める場合は、僕は日本の宮崎県のえびの市に住んでいるので、国税を日本国に、県税を宮崎県に、市町村税はえびの市に分けて納めているということになります。さて、間接税の代表でもある消費税ですがいつかは8%から10%になります。これは私たち国民にとってある意味仕方のないことかも知れませんが、しかし、消費税率が上がっていくことについて僕には不満があります。それは消費税は間接税であり、国民全員に同じようかけられます。このことは裕福な人たちの生活はあまり変わらず、年金生活をしている高齢者など一定のそう多くない収入で生活している人たちには大変な負担で、買いたいものも買えなくなってしまうと思われます。ですから、国民から均一に消費税を納めさせるのではなく、より多くのお金を稼いだ人からより多くの消費税を納めてもらった方が良くと思います。そして裕福な人とそうでない人の生活の差が縮まり、日本の国や地方にも今までよりも多くの税金が入ってくるのではないかと思います。また、今は東京周辺に人が集まりすぎているので、固定資産税や不動産取得税など土地に関係する税金が上がっています。そこで、地価の安い地方の空いている土地を使えば、今よりもお金を稼ぐことができるのではないのでしょうか。そうすると、お金を稼ぐために沢山の人々が来ます。今の日本の課題の一つである過疎・過密も解消できるのではないのでしょうか。また、人口が増えると小学校や中学校などの新しい施設が必要になります。これらを造るためにはお金がかかります。そのために税金を納めるのです。このように税金には私たちが抱える課題を解決する力があります。ですから、僕はきちんと税金を納め日本の国に貢献したいと思います。

② 生徒作文（3年女子）

夏休み直前に租税教室がありました。正直、私は税金についてよく知りませんでした。知っているのは消費税くらいでした。最近、消費税が話題になっています。そのことを耳にするたびに、消費税なんていらぬのになって思ったことが何回もありました。同時に、これだけ批判をあびてもなくなる消費税はもしかしたら大事なもののな



かとも思いました。租税教室で話を聞いていると、税金は消費税の他にもいろいろな種類があることが分かりました。また、私の住んでいるえびの市の歳入の約7割が依存財源といい、国や県から補助されたり割り当てられたりする財源だそうです。残りの約3割は自主財源といい、えびの市の独自の財源だそうです。自主財源は消費税をはじめとする市民の納める税が主なものとなっています。消費税の他にも個人の一年間の所得に対して課税される所得税や、大規模に土地を保有している会社や個人に課税される地価税などの税金がその内訳となっています。これらの市民の納めた税金は市民のために使われます。例えば、上江小中学校のように施設一体型小中一貫教育校整備事業で一貫教育をするための施設を作ったりすることに使われます。その中で徹底した学力向上と地域に貢献する人材の育成が行われることにより、市民のために税金が使われます。また、えびの市には飯野高校以外に県立高校はありません。しかし、近年の少子化の影響で定員に満たない状況が続いています。そこで、県立高校の存続ができるようにえびの市から飯野高等学校支援事業として税金が使われます。これも市民のために税金が使われているものの一つです。このように税金は自分たちの地元を守るためにその多くが使われます。私はこの機会に税金の大切さや税金の意味を考えることができました。また、えびの市の未来のためにも、これからはしっかりと税金を納めていきたいです。そして、自分が納めた税金がどこかで人を助けるために使われることを願っています。



表彰式の様子



受賞した生徒たち



全校集会での表彰の様子



校内放送での発表の様子

③ 標語・川柳

消費税 あがると大変 ママ悩む  
消費税 続く関係 お友だち  
滞納は みんなが困る 期日まで  
大切に 使おうみんなの 税金を  
納税で 救える命は 限りなく  
税金は 多くの人を 救います  
8%で 輝く未来 明日のため  
考えよう 大切な税の 使い道  
いっしょだな 僕の打率と 消費税  
納税は 皆の笑顔を 増やすため  
ついに建つ みんなのおかげで my school  
税金で 笑顔満載 この世界  
少しでも 笑顔がみられる ワンコイン

税金は しっかりとね 納めよう  
自分でね 出したお金が 使われる  
出し合おう みんなを救う 税金を  
国の税 隠れた伝統 受け継いで  
税金を 大事に使おう 国のため  
税金で 橋や道路を 造ってる  
税金 しっかりとらう 守ろうよ  
未来への 幸せの橋 8%  
そこの君 いつかどこかで 助かるよ  
家族みな 税のおかげで 華満開  
築こうよ 住みよい日本 納税で  
作り出す 明日の生活 その税で

④ 短歌

大人たち 進む未来に 貯金箱 納めた税金 世の中のため  
僕たちの 未来を作り 日本のため みんなのために 大切なこと  
税金は 生活のため 納めよう 暮らし役立つ 皆のため  
税金を みんなで出せば 日本のね 未来はきっと 輝いている  
国のため いろいろな税金 使ってる 日本の未来 輝いてる  
納めたら みんなの未来 変えられる 10%の 税が未来へ  
消費税 上げると言われ 困るけど 不安になるな 未来の日本  
人々は 税金使って 助け合う 苦しい人も これで助かる  
税金で 救える命 守るため 私もはらう みんなの絆  
納めよう みんなで税金 しっかりと 国のお金で みんなが助かる  
税金は これから作る 今と未来 みんなで支え 築こうよ  
税金は みんなの支え きちんと納めて みんなの未来  
毎日が 楽しく安全 過ごせるのは 税のおかげ 税に感謝  
生きている 僕の日々に その税が この社会 街つくる  
ありがとう 家族みんなで 言い合える これもやっぱり 税のおかげ  
道つなぎ 世界をつなぎ つくりだす ひらける世界 税の使い道  
安心だ 税金で守る 永遠に 明るい社会 笑顔の生活  
税金は 負担ではなく 支え合い 未来へつなぐ 大事な納税  
周りには みんなのもので あふれてる これはみんなの 努力の証



⑤ 親子短歌

作	品
消費税	上がるの 下がるの どっちなの？ 早く決めてよ どちらか一つ
考えよう	みんなの税の 使い道 たくさんの 税が未来の 宝物
お金はね	子供の注射 やくにたつ
たくさんの	税金がある 世の中に 税金はらう 人々たちが
僕たちは	たくさん税を はらいます はらった税が みんなのために
税金を	みんなのために 役立てながら 頑張ろう
国会で	定めた税金 かかせない 税で守ろう 国の豊かさを
考えよう	自分の暮らしと 使い道
家族でね	税金のこと 考えて 忘れずしっかり 正しく納めよう
税金は	未来に繋ぐ 道しるべ 税金よ 皆をたすける お金かな
おこづかい	買いに行ったら 消費税 買えない事に 涙が出そう
身の回り	どんなところでも つかわれる 税は大切 必要なもの
みんながね	払っている税金が 日本という 国をつくっている
納税は	大人の義務だ 我が国を 橋も道路も 皆税金で
大切に	税を考え 大切な 税を知って 税を覚える
しっかりと	お金を大切に しっかりして 守るお金を
みんなでね	協力してね 税金に 一人一人が 意識して
税金は	みんなで納め 声かけ合い みんなのために 日本のために
税金は	親と子供に 使われて 平和な暮らし 続いているよ
国のため	じかくを持って 脱税 税
しっかりと	国に納めよう 税金を 住みよい暮らし 明日のために
語り合おう	租税について 家族でね 末は あなたも 納税者
しっかりと	みんなが使う 税金を 日本のために 納めよう
税金は	貧乏人が 払うもの そしてみんなが 幸せになる
税金は	みんなが使う 必需品 納めてつなぐ 豊かな未来
税金を	今からのため 納めてね 未来の為に 暮らしの為に
税金の	おもさを感じて 使い道 住みよい郷土 守ろう日本
税の大切さ	しっかり学んで 暮らししていこう
納税で	地域の発展 すこやかに 親子共々 豊かな心
税金で	町を助ける 僕達で みんなで参加 町助け
税金で	未来が変わる 僕たちの これからの事 考えようよ
納めよう	住みよい町に するために 大切なお金 みんなのために
子供から	聞かれ学ぶ税金を たくさんある 税金をしっかりと みんなで出そうよ その10円
税金の	恩恵知らず 暮らしている 日本社会 平和だね
税金を	みんなを出して 考える 今の自分と未来の自分
親と子で	税の使い方 考えなおし その時間が 思い出となる
税金を	正しく使い よく学ぶ
おさえよう	日本の未来を 支えよう 次の世代に つなげていこう
教科書に	車と住宅 学校で 全て税金と 知る自分



## 2 税務署との連携

### (1) 職員向けの租税教室

夏季休業中の職員研修の一環として、宮崎税務署から2名の講師の先生を招聘して租税教室を開催した。

#### ① 租税教室開催までの手順等

ア 租税教室開催までの手順は、電話で内諾を得た後、日時や講義の内容の調整を行った。主な講義内容は、日本の租税のしくみと身近な租税、職員からの質問に回答していただくことに決まった。また、講義時間は50分間であった。

イ 租税教室開催当日は、開始時刻より前に来校していただき、校長室において最終打ち合わせを行った。講師の先生は、中迫ルミ子様と中武宏之様の2名お越しした。

#### ② 主な講義内容

ア 社会の現状として、少子・高齢化、年金・医療関係の給付と財政、消費税の日本と諸外国との比較、日本の財政についての講義であった。また、税の概要や給与所得の源泉徴収票についても説明していただいた。

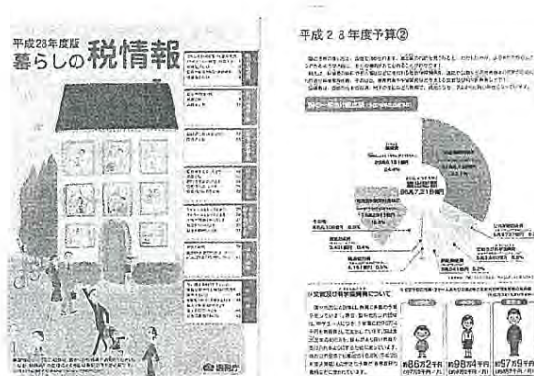
#### ③ 先生方の感想

ア 職員研修で租税教室を受け、一般的な税の知識がより深まった。少子高齢化が進む中、税収の変化や医療費関係の変化など、我々の生活により密着した内容であり、現状の問題点や今後の問題など興味をもって知ることができた。また、国税や地方税の分類など、知っているつもりで知らなかったことを意識するきっかけになった。特に源泉徴収の話は、身近で非常に興味深い内容であった。

イ 日本国憲法の中に日本国民の三大義務のひとつとして納税の義務がある。公平な徴税、そして有効な活用をわたしたち国民は望んでいる。少子高齢社会になった現在、保育園の不足や医療費負担の増加など将来への不安が私たちに付きまとう。日常の小さな幸せを重ね合わせて生きていこうとする私たちに税は何を問いかけているのだろうか。今後も幸せの種を蒔いていきたいと思う。



租税教室のようす



活用した資料



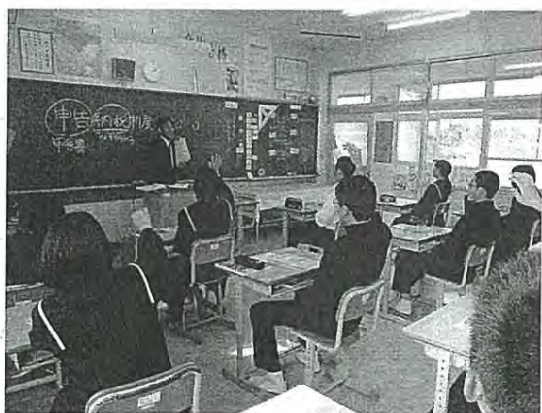
## (2) 生徒向けの租税教室

### ① 租税教室の実際

小林税務署の杉山雄志氏を講師として、3年生を対象に租税教室を実施した。租税の種類や租税の使われ方、租税がなかった場合世の中はどうか(DVD)などについて教えていただいた。特に、租税の使われ方を考えシートを選ぶ場面や1億円の重さを体験する場面では生徒たちの積極的な姿勢が見られた。社会科の授業で租税や財政について学習した後だったこともあり、生徒たちは租税教室で教えていただいた内容を理解し易かった様子であった。

### ② 生徒の感想(一部省略)

- ・ 今日はお忙しい中、租税教室を開いて下さりありがとうございました。もしも税金がなかったらという番組を見て、改めて税金の大切さが分かりました。私たちが中学校で勉強できるのも皆が税金を払っているからだと思います。感謝の気持ちを忘れずにがんばらなければいけないと思いました。(女子生徒)
- ・ 僕は今日の租税教室で一番印象に残ったのは、1億円があんなに重いということでした。お金は紙なのに1億枚も集まると、あんなに重くなるんだなと思いました。あのケースの1万倍で1兆円になる。又、その100倍のお金を日本の国は1年間で使っているということになる。このほとんどが税金である。皆の力を合わせたこのお金でいろんな皆のためになることができると思うとすごいなと思いました。(男子生徒)
- ・ お忙し中、僕たちのために租税教室を開いていただき、ありがとうございました。先生の税のクイズみたいなのを答えましたが、全部正解ではありませんでした。自分の住んでいる所にもたくさんの税金でつくられたものがあるんだなと思いました。将来はみんなのためや自分のために税金を払っていきたいと思いました。(男子生徒)



講師の先生の授業のようす



### 3 租税に関するクイズの実施

生徒たちに租税に親しんでもらい、同時に租税に関する知識も身に付けたいと考え、放課後のドリルの時間等に租税クイズを実施した。また、国税庁のホームページの税の学習コーナーのゲーム・クイズを活用した。

#### ◇ 租税に関するクイズ（全国間税会総連合会税金クイズより）

（ ）年（ ）番 氏名（ ）

- (1) 平成28年度の一年間で日本国が使うお金はおよそいくらでしょう。  
( 34兆円、 50兆円、 74兆円、 97兆円 ) [一般会計予算]
- (2) (1)のうち、借金はおよそいくらあるでしょう。  
( 14兆円、 24兆円、 34兆円、 44兆円 )
- (3) 平成28年度末には国の借金は838兆円になると見込まれています。この額1万円札で富士山(3776m)の高さに積み上げると、富士山何個分になるでしょう。  
( 1219個分、 1719個分、 2219個分 )
- (4) 平成28年度末には国の借金は一人あたりいくらくらいになるでしょう。  
( 464万円、 564万円、 664万円、 764万円 )
- (5) 消費税の税率は10%に引き上げられそうですが、この10%の税率はヨーロッパ諸国(イギリス・ドイツ・フランス)の税率と比べるとどうですか。  
( 日本が低い、 ほぼ同じ、 日本が高い )
- (6) 缶ビール1缶(350ml)の酒税はいくらくらいですか。  
( 57円、 67円、 77円 )
- (7) 缶入発泡酒1缶(350ml)の酒税はいくらくらいですか。  
( 37円、 47円、 57円 )
- (8) ビール風酒類(第三のビール)1缶(350ml)の酒税はいくらくらいですか。  
( 18円、 28円、 38円 )
- (9) たばこ1箱(20本入)のたばこ税はいくらくらいですか。  
( 165円、 205円、 245円 )
- (10) ガソリン1ℓにかかる揮発油税などはいくらくらいですか。  
( 44円、 54円、 64円 )

答え [ (1)97兆円 (2)34兆円 (3)2219個分 (4)664万円 (5)日本が低い ]  
[ (6)77兆円 (7)47円 (8)28円 (9)245円 (10)54円 ]

◇ 国税庁（小学生 指導用 わたしたちの暮らしと税より）

ホモしろ税金クイズ！

問1 街にはいろいろな自動車が走っていますが、税金で買われている自動車はどれでしょうか？

①バトカー



②トラック



③タクシー



問2 税金には、いろいろな種類があります。現在、日本で適用されている税金は全部で何種類あるでしょうか？

①約25種類

②約50種類

③約1,500種類

問3 日本では、なぜ税金を納めなければならないのでしょうか？

①昔から年貢として納めていたから

②豊かで安全な暮らしをするため

③税務署が納めてくださいと言うから

問4 日本で救急車を利用すると、いくらかかるでしょうか？

①無料

②約6万円

③約10万円

問5 消費税のような「付加価値税」は世界140か国以上の国にあります。

では、消費税（付加価値税）の標準税率が一番高い国はどこでしょうか？

①日本

②アイスランド

③ハンガリー

問6 世界には様々な税金があります。次のうち、実際にはない税金はどれでしょうか？

①ポテトチップス税



②ソーダ税



③ソーセージ税



問7 税務署を表す地図記号はどれでしょうか？



答え

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7